

# 小堅地区 小学校の廃校活用

チーム：11

氏名

C118117A 佐藤陽斗

C1180873 小林一輝

C1182464 紺野俊史

C1190724 伊藤佑奈

C1190357 梅津芽依

## ～小堅地区の現状～

- 若い世代が地元から出て行ってしまいう事による少子化。人口減少。
- 地域の衰退化
- 子供の帰る場所が家しかないこと

**廃校を利用して解決！！**



# 廃校の写真「正面」



# 利活用できる 校内の写真「和室」と「他2部屋」

和室



洋室2部屋 広さ:28畳



# 活用方法：海のカフェ

子どもから大人まで様々な世代の「居場所づくり」

子供の帰る場所

×

地域住民交流の場

# 海のカフェ

具体的な活用方法：子供たちの帰る場所、地域住民の交流の場

ターゲット：子供、女性、観光客

**子供**：進学などによって、地域を離れても「戻ってきたい」と思わせることができれば、将来的には戻ってきてくれるから

**女性**：教育や情報収集などで悩んでいる人たちが集まり、仲間同士で話せる場があることで、情報交換ができ、より住みやすく教育がしやすくなる

**観光客**：小堅地区でしかできないことをSNSなどを利用し情報発信をし、実際に来てくれた人には小堅地区ならではの特産品をプレゼントする。



# カフェの定員：大学生と**地域住民**

**地域住民**：海のカフェでは、小堅地区の特産物を活用する予定なので、それらについて詳しい知識を持っている**漁師**の方々に協力してもらおう。（忙しいことを考慮し、冬季限定）

地区の方々と連携することにより、大学生も地域の方々も魅力の再発見に繋がる。その他にも、普段関わることの少ない世代との交流の場が増え、学生はカフェ定員という役割を果たすだけでなくより、学ぶことが多くあると考えられる。

## 活用方法：海のカフェ

現在、帰る場所が家しかないという子供達に、**学校以外で同世代と関わることができる場所を提供すること**で、安心感・充実感を与えることができる

また、**地域住民交流の場所**として利用することができ、何か困ったことや悩んでいることがあれば、**相談や情報交換できる場所としても利用可能**



# 活用方法：海のカフェ

期待できる効果：少子化と若者の流出を抑える

今少子化として問題視されている子どもに目を向け、住みやすい地域づくりをすることで、次世代の若者の流出を防ぎ、同時に地域活性化に繋がるのではないだろうか。

# 海のカフェの魅力

一般的なカフェのように食事や飲み物を提供する  
だけではありません！！

**展示スペースを設ける**

**ここで、子どもたちの作品や地域住民が作ったもの  
を展示し、共有する**

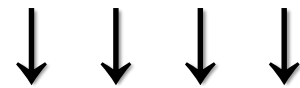
# 展示スペースの目的

展示品を飾ることで、子どもから高齢者まで幅広い世代の集客を期待できる。

また、私たちの力だけでは、

カフェの継続が難しい（経済的に）

**そこで、住民の皆様にも協力を要請。**



**住民の皆さん・大学生が作った展示品を販売する**

# 海のカフェの具体的な商品

**地産地消**を意識して、

小堅地区ならではの食材を使用し料理を提供する。  
(海鮮を使ったパスタ・山菜を味わえる料理など)

馴染み深い味を提供することで

住民にとって居心地のいい雰囲気を出せる！！

# 参考事例：Cafeここたの

学生が中心となり、運営しているコミュニティカフェ。  
学生スタッフと市民スタッフが一緒になって調理や配膳を行っている。

毎月第3土曜日には、住民が自分の趣味を生かした企画を行う「ここたのナイト」を開催している。

ぬくもりのある雰囲気・地域世代間交流

# 参考ウェブページ

Caféここたの <https://kokotanochan104.jimdofree.com/>

コミュニティカフェの実態に関する調査結果

[http://www.hwrc.oita-u.ac.jp/publication/file/Text\\_2011\\_2.pdf](http://www.hwrc.oita-u.ac.jp/publication/file/Text_2011_2.pdf)

フリー素材 いらすとや

<https://www.irasutoya.com/>